

平成 21 年 8 月 10 日

関係学部・研究科の長 殿  
関係研究機関の長 殿  
関係各位

名古屋大学大学院生命農学研究科  
生物機構・機能科学専攻  
専攻長 田中 利治

### 生物機能分化学講座教授の公募について

謹啓

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

下記の通り、名古屋大学大学院生命農学研究科生物機構・機能科学専攻では生物機能分化学講座の教授を公募いたします。つきましては、貴機関の関係各位に周知方ご高配いただきたくお願い申し上げます。なお、貴機関以外でも適任の方をご存知の場合は、その方にお伝えいただければ幸いです。

### 記

#### 1. 選考方針

生物機能分化学講座は害虫制御学、資源昆虫学、水圏動物学、および動物形態情報学の4研究分野から構成されています。本講座は哺乳類や鳥類、魚類、昆虫類などに内在する生命戦略を個体から分子にいたるレベルで総合的に研究することにより、新たな生物機能利用システムを開発し、生物生産分野へ貢献することを目指しています。

本公募では、脊椎動物（主に哺乳類や鳥類）の形態および生体機能に関連する分野において優れた業績を有し、生命農学を基盤とした広い視野に立って講座や研究科のさらなる発展に貢献でき、大学院と学部の教育ならびに管理運営に熱意と責任を持って携わる方を求めます。なお、分類・形態学、動物組織・形態学等の講義および形態学関連の実習等を担当できる方が望まれます。

## 2. 応募方法

### (1) 応募期限

平成 21 年 9 月 30 日 (水) 必着 (書留・宅配便以外は受理いたしません)

### (2) 応募先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院生命農学研究科 生物機構・機能科学専攻

生物機能分化学講座

教授選考委員会 委員長 田中利治

(問い合わせ等は e-mail にて委員長まで [totanaka@agr.nagoya-u.ac.jp](mailto:totanaka@agr.nagoya-u.ac.jp))

## 3. 応募に必要な書類

- (1) 応募する旨を明記した書類 (応募者の連絡先、電話番号、e-mail アドレスなどを含む)
- (2) 履歴書
- (3) 研究業績リスト (原著論文、総説、著書など)
- (4) 論文、著書などの別刷り (主要なもの 10 編程度、コピーでも可、これらは後日返却します)
- (5) 業績の説明 (A4 判、2,000 字程度、研究業績リスト番号を引用のこと)
- (6) 研究に関する抱負 (A4 判、2,000 字程度)
- (7) 教育に関する抱負 (A4 判、1,000 字程度)
- (8) 過去 10 年間の研究資金獲得状況 (科学研究費補助金などの競争的資金。代表と分担に別けて、名称と金額を明記)
- (9) 応募者について照会できる方 2 名の氏名と連絡先
- (10) 社会・学協会活動等の状況

## 4. その他

- (1) 選考の過程で面接などをお願いすることがあります。
- (2) 当研究科では、男女共同参画推進に積極的に取り組んでいます。
- (3) 選考の過程については原則として研究科内公開ですが、個人情報保護法は遵守されます。

### 【専攻および講座の紹介】

本講座は、害虫制御学、資源昆虫学、水圏動物学および動物形態情報学の 4 研究分野からなり、生物機構・機能科学専攻に所属しています。同専攻には他にバイオダイナミクス、分子細胞機構学および資源生物機能学の 3 講座があります。

赴任後は、下記の科目をご担当いただくこととなります。

大学院：生命農学本論の一部、生物機能分化学基礎講義の一部、生物機能分化学基盤実験の一部、生物機能分化学特論、生物機能分化学演習、生物機能分化学輪講

学 部：分類・形態学の一部、動物組織・形態学の一部、理系教養科目の一部、理系基礎科目の一部、資源生物科学基盤実験実習の一部、資源生物科学実験実習の一部、専門セミナー、卒業論文